

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2023/8/5

## ■ID: A22029

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: クイーンズランド大学(UQ)

■留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2022/7/18 ~ 2023/6/17

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 公共政策学教育部国際公共政策コース

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 専門職2年

## ■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

大学院入学当時から留学を検討しており、入学後留学生と交流する中で英語圏への留学を決めました。卒業が遅れることは懸念点でしたが、家族との話し合いを通じて渡航を決めました。

## 留学の時期について/About the timing of the study abroad period

## ■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2022年/Academic year / 修士2年/University year / S2学期まで履修/Completed semester

## ■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

## ■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2023年/Academic year / 修士2年/University year / A1学期から履修開始/Semester

## ■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

卒業前に留学したかったから。M1のAセメから行くのは入学前からの準備が必要なので難しかった。

## 学習・研究について/About study and research

## ■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

International human rights law/ 2  
Migration, Culture and Identity/ 2  
Refugees Asylum Seekers and the Law/ 2  
Australian Foreign Policy/ 2  
Introduction to Aboriginal Studies/ 2  
History of Genocide/ 2  
Intermediate French/ 2

## ■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

授業のスタイル: 講義だけのものから、ディスカッションメインの Tutorial が毎週あるものまで様々でしたが、やはり日本での授業と比べると発言を求められる機会が多かったです。

予習: 予習用に配られる Reading の数が多く、全てに目を通すのは難しいことも多かったですが、概要は把握していくようにしていました。

復習: 資料を読み返すなど。授業の録音を配布してくれる授業と配布してくれない授業があり、配布してくれる授業では聞き取れなかった箇所を何度も聞いて活用しました。印象に残っている授業としては、Aboriginal Studies の授業で、ブリスベン近隣のアボリジニの方々の村まで実際に連れて行っていただき、お話を聞いたり施設を見学したりしたことがあります。せっかくオーストラリアに留学したのだからと、興味本位でとった授業でしたが、大変面白く、やはり実地の経験は強く記憶に残るなと思いました。

■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester:

4~6 科目/Subjects / 1~10 単位/credits

■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week:

11~15 時間/hours

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research:

スポーツ, ボランティア

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research:

ときどき友人と近隣の海岸清掃のボランティアに参加していました。地元の方ばかりで、終わったあとのバーベキューでお話をするのが楽しかったです。スポーツに関しては、寮の中のジムに通っていました。また、頻繁ではないですが、休暇中にはサーフィンなどのオーシャンアクティビティにもチャレンジしました。学内の Red Cross Society にも参加して、たまにイベントに行っていましたが、あまり活発には活動していませんでした。

■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations?:

友人とご飯やマーケットに行ったり、旅行に行ったりしていました。Mid term exam や Final exam が近いときは、図書館や自室で課題に取り組んでいました。また、日本の就職活動をオンラインで行ったので、それにも時間を割きました。

#### 派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities:

図書館は大学内に複数存在し、どこも勉強しやすかったですが、試験前はかなり混んでいました。どうしても場所が必要な際は、事前に個室を予約することもできました。スポーツ施設はキャンパスに有料のジムとプールがありましたが、私の場合、住んでいた学生寮にどちらも設営されていたので、そちらを使っていました。食堂は前述のようにフードコートがありますが、やはり高いです。Wifi 等通信環境は日本より良く一切困らなかったです。

■ サポート体制/Support for students:

学生センターが存在し、困った時には連絡するとどこに頼ればいいのかを教えてください。ただ、一度精神的にまいってカウンセリングを使おうとしましたが、数ヶ月先まで予約が空いておらず、現実的には利用困難なのかなと思いました。

#### プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation:

学生寮
<p>■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :</p>
<p>大学から Student Accommodation の紹介のメールが届き、その中から選びました。StudentOne という Central Station 付近の学生寮の、キッチン・バスルームを 5 人でシェアする形の部屋に住んでいました。ルームメイトの部屋の使い方が悪く部屋が汚くなることはありましたが、設備自体はかなり綺麗で住みやすかったです。</p>

<p>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :</p>
<p>気候は大変よく過ごしやすいです。湿度が低いので夏も気温の割には暑すぎず、逆に冬は気温の割には夜冷え込みます。紫外線がとにかく強いので肌が痛くなることが多く、そこだけ対策が必要でした。また、私の滞在中はありませんでしたが、洪水が発生する年もあるようです。大学周辺には何もありませんが、街の中心部までバスを利用すると近いので問題ありません。交通機関については、街中にバスが通っているので基本的には困りません。時間通り来ないことは多いです。食事に関しては、スーパーマーケットでの食材の価格も外食の価格も高かったです。ルームメイトがキッチンを荒らしがちだったので、格安の冷凍食品で済ませる日も多かったです。大学構内にもフードコートが二つとカフェが複数あり、食事には困りませんが、やはり価格は高いです。</p>
<p>■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :</p>
<p>私は家族との相談で海外で使用しても手数料が少ないデビットカードを探して使用していましたが、Wise を使っている人が多かった印象です。現地では、友人とのお金のやりとりで口座送金を使う人が多かったので口座を開設し、一定額をそこに置いて割り勘などのやりとりしていました。</p>
<p>■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :</p>
<p>治安は本当に良かったと思います。家賃が急上昇中なこともあり、ホームレスの方が増えているのは懸念事項かもしれません。医療については、常用薬の処方に関して学校にある病院と市内の普通の病院の双方にかかりましたが、どちらもオンラインで簡単に予約できました。支払いはほぼ保険でカバーされました。保険の手続きに関しては病院の受付の方に教えてもらい、アプリを通じて行いました。コロナに一度罹患したのですが、病院で検査はやっていないとのことで、まず自分で薬局で検査キットを買って検査したのち病院に行きましたが、市販の薬と栄養ある食事の勧めを受けただけだったので行かなくてもよかったです。数日間本当にしんどくて、冷えピタとおかゆパックくらい持ってきておけばよかったと思いました。検査キットは一つ買って持っておくと安心です。</p>

<p>留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad</p>
<p>■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :</p>
<p>メールや申請用のウェブサイトが親切なので、基本的には困ることはないと思います。履修登録用のページだけ若干分かりづらく、行き先の大学を卒業した友人にアドバイスをもらいました。</p>
<p>■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :</p>
<p>Student Visa (Subclass 500)申請先は移民局です。時期によるようですが、オンライン申請から 1 日～1 週間ほどで結果が来ます。手続き中に申請の動機を書かされるページがあったので、事前に準備しておくスムーズかもしれません。申請料が高い(値上げしているようです)ので事前の準備が必要です。また、万一ビザ申請が却下されると申請料は返ってこないのです、申請の内容も間違いがないように気をつけると良</p>

いです。

■医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

かかりつけ医に常用薬に関する英語の証明書を書いてもらって持参したところ、向こうの医者と同じ薬をスムーズに処方してもらえました。コロナのワクチンは3回打ってから行きました。また、流行っているとのことだったのでインフルエンザのワクチンも打ってから行きましたが、現地の薬局でも簡単に打てそうでした。

■保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

学生ビザを申請する際に OSHC という保険に加入することを義務付けられており、選択肢はありませんでした。保険料が高いので事前の準備が必要です。

■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

学務に対して留学する旨を伝え、卒業延長の手続きを行いました。留学生や留学する学生がとても多い教育部なのでスムーズでした。

■語学関係の準備/Language preparation :

所属の教育部で英語での授業が多く開講されていたので積極的に履修し、英語でペーパーを書くことに慣れようと試みました。授業を通じて留学生の友達を作ったことも良かったと思います。余暇の時間は、音楽、映画、YouTube などなるべくずっと英語のコンテンツに触れているようにしました。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	120,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	20,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	95,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	60,000 円/JPY

■その他、補足等/Additional comments :

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :

家賃/Rent	100,000 円/JPY
食費/Food	50,000 円/JPY
交通費/Transportation	2,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	20,000 円/JPY

■その他、補足等/Additional comments :

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :

受給した

■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :
日本学生支援機構
■受給金額(月額)/Monthly stipend :
70,000 円
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :
大学(本部)からの紹介

今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :
なし
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :
46 単位/credit(s)
■留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :
0 単位/credit(s)
■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :
10 単位/credit(s)
■卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm) :
2024 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :
<p>渡航国の政策に関心があり、日本ではそれを直接教えている先生を見つけられなかったもので、まずは関心あることを学べた点で満足しています。教員との相性や自分のメンタルヘルスの問題など、予期できなかった問題はたくさん起きましたが、総合するとやはり来て良かったかなと思います。また、外国に住むという経験自体が、これまでの経験を相対化することに寄与し、今後の人生の方針を考える上でとても役立つと考えているので、その点でも満足しています。日本にいて日本人であるだけで得ている特権に気づきづらいので、自分がマイノリティである環境に身を置く経験を若いうちにしておくことは、社会を俯瞰して捉える視点を養う上で重要だと思います。オーストラリアに関しては、気候の良さや平和な国民性からとても過ごしやすく、勉強に集中するにも、海外の友人を作るにも素晴らしい場所だと思いました。歴史が浅いため文化的な魅力は他地域に比べて薄いですが、代わりに世界中からの移民がいるのでアジアをはじめ様々な国・地域の文化を知る機会がありとても良かったです。</p>
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
<p>留学を経て、セカンドキャリアで海外のポジションに就くことを目標にしようと改めて強く持ちました。逆に、新卒のファーストキャリアについては、海外就職にも憧れていましたが、留学を経て自分のこれまでの経験と学歴が活かせる国内での就職の方がアドバンテージが強いことを認識し、実際そのようにしました。</p>

■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :

キャリアへのメリットとしては、やはり語学力、英語でペーパーを書いた経験、異文化から来た人々との協働経験などがあると思います。キャリアへのデメリットは特に思いつきませんが、就職活動に関しては、現地で知り合った日本人で日系企業に就職したい方々はオンラインでは就活が完結しないことが多いようで、受けられる企業の幅が狭まり苦労しているようでした。私は外資系に絞った就活をしていたこともあり、全てオンラインで完結し、問題ありませんでした。

■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :

学外の就職活動イベントに参加した、社会人との接点をもつように心がけた

■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

民間企業、ポストコンサルティンググループ

■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

よく留学すると価値観が変わると言いますが、個人的には視座が上がるというほうが正確かなと思いました。別の学校、社会、国を比較対象として知ること、一段上のものの考え方ができるようになります。外国語での学習や研究は精神的に負担が大きいです、事前の準備で負荷を減らすことは可能ですし、外国語で友人を作って深い友情関係を築くことは一生の宝物になります。迷っている人はぜひ行ってみることをお勧めします。

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

行く大学、住む街の情報は、Google 検索だけではなく Instagram、YouTube、Twitter、Linkedin などで検索し、情報を発信している学生や教員を見つけるとかなり効果的に収集できます。

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2023/11/29

■ID: A22178

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: クイーンズランド大学(UQ)

■留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2023/2/13 ~ 2023/11/16

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 農学部獣医学課程獣医学専修

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

高校生の時から、大学に入ったらずちに留学をしてみたいと思っていました。また、将来海外で働くことを視野に入れる上で、海外での生活が自分の肌に合うかを確認する必要があると感じていました。大学入学後すぐにコロナ禍に突入してしまったため、渡航は早くて大学3年の秋というような状況でした。自分は北米よりもオーストラリアに興味があったこととカリキュラムとの兼ね合いから、大学3年の2月に時期を決めました。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2023年/Academic year / 学部3年/University year / A2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2023年/Academic year / 学部4年/University year / A2学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

キャリアを考えるにあたって早いうちに海外での生活を経験しておきたかったのですが、自分の学年は入学した直後にパンデミックになったので、南半球に留学するとしたら3年の2月が最も早いタイミングでした。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

Animal Behaviour, Handling &amp; Wellbeing/2

Pharmacokinetics and Medicines management/2

Continuing Spanish A/2

Animal Nutrition &amp; Technology/2

Equine Exercise &amp; Rehabilitation/2

Biology of Australian Marsupials & Monotremes/2

Functional Anatomy of Locomotion & the Integument/2

■ 留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad :

授業は Lecture と Tutorial/Prac に分かれていて、週 2~3 回あります。Lecture は録画されているものが多く、それを見るが多かったです。予習はほぼしませんでした。Tutorial/Prac などのために Lecture や予習用動画を見ることはありました。復習は試験前にまとめてしていました。特に印象に残っているのは、Functional Anatomy of Locomotion & the Integument で、これは獣医の 1 年生の必修の授業です。イヌとウマの運動器を扱い、実習では数週間かけて解剖と同定を行います。試験がハードで、標本が置いてある部屋で友人たちと夜中の 3 時まで勉強したのはいい思い出です。東大の獣医の授業との違いも感じることができて面白かったです。

■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :

4~6 科目/Subjects / 1~10 単位/credits 以上

■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :

6~10 時間/hours

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :

ボランティア, インターンシップ

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :

Lone Pine Koala Sanctuary で 2 週間のボランティア、Brisbane Veterinary Specialist Centre と Currumbin Wildlife Hospital でそれぞれ 1 週間の placement を行いました。長期休暇を有効に使いたかったので、渡航前から調べたりしながら、自分でメールなどをして応募しました。

■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :

週末はカフェに行ったり、図書館で過ごしたりしていました。長期休暇はボランティアや病院実習に行ったり、国内旅行をしたりしていました。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities :

キャンパスの図書館は 24 時間利用可能でとても良かったです。どちらのキャンパスにもジムがあって、多くの学生が利用していました。St. Lucia キャンパスにはフードコートやカフェなどがあり、食には困らないと思います。Gatton キャンパスでは寮生用の食堂で食べていましたが、小さいカフェも一応あります。

■ サポート体制/Support for students :

保険関連などで留学生向けの部署に問い合わせしましたが、すぐに対応してくれました。自分は利用しませんでした。レポートの書き方やプレゼンの仕方のサポートをしてくれるところもあったような気がします。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :

学生寮

■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :



UQ から紹介があるのでその中から選べば問題ないです。が、自分の場合メールが届いたのが遅く不安になったので、東大から紹介してもらった先輩に問い合わせし、リンクを教えてもらって先に調べていました。いい物件は本当にすぐに埋まるので注意が必要です。前期は学生専用のマンションに住んでいました。大学と中心地の中間の Toowong あたりがいいのではという話を知人から聞いたので、場所から決めて探しました。個室で、キッチンが共用でした。後期はオンキャンパスの寮に住んでいました。個室で、バスルームは共用、3食付きでした。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :

気候はとてもよいです。夏は少し暑いですが、何よりも晴天率が高くメンタルヘルスにとってもよいと感じました。ブリスベンの交通機関はバスが主ですが、電車も利用しました。特に大きな不便を感じることはありません。タクシー配車サービスの Uber も、必要な時には利用しました。外食すると日本の 1.5~2 倍ぐらいしますが、スーパーに行けば値段は日本とそこまで変わらなかったような気がします。

■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

現地で NAB の口座を開きました。そのデビットカードと日本から持参したクレジットカードを併用していました。マンション入居時に支払う Bond が現金でしか払うことができないと言われていたため、日本で豪ドルを準備して持参し、残った分は口座に入れました。現地の友人とのお金のやり取りは銀行口座同士のトランスファーで行うことが多いので、開設することをお勧めします。

■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

治安は非常に良いです。ブリスベン市内には日本人向けの病院もあるので心配する必要はないと思います。栄養と睡眠はしっかりとるように心がけていました。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

大学から指示がメールで届くので、それに従っておけば特に問題ないと思います。不安な点に関しては、同じ大学に留学経験がある又は留学中の先輩を東大に紹介してもらって質問しました。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

オンラインで subclass500 を申請しました。入力項目が多く 2 時間ほど要したような記憶があります。すぐに申請は通りましたが、余裕を持って手続きすることをお勧めします。

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

歯医者に行って緊急時の痛み止めをもらったぐらいでした。解熱鎮痛剤、風邪薬、虫刺され薬、胃腸薬など、使うことになりそうな薬は一通り持っていきました。

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

UQ から OSHC、東大から東京海上日動の保険と OSSMA への加入を義務付けられたと思います。全て案内通りに進めれば大丈夫です。

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

農学部へ届出を出しました。獣医はライセンス教育なので、単位の交換はできないことを告げられました。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

渡航 1 年前の TOEFL で 98 点。スピーキングだけ 20 点を切っていたので課題を感じていましたが、授業等が忙しくオンライン英会話などの準備はできませんでした。海外ドラマなど英語のコンテンツに触れるよ

うにはしていたと思います。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :	
航空費/Airfare	250,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	100,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	60,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	160,000 円/JPY
食費/Food	50,000 円/JPY
交通費/Transportation	3,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	20,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給した。	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
The Fung Scholarships	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
70,000 円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
大学(本部)からの紹介	

今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :	
なし	
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :	
63 単位/credit(s)	

<p>■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo:</p>
0 単位/credit(s)
<p>■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return:</p>
74 単位/credit(s)
<p>■卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm):</p>
2026 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

<p>■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts:</p>
<p>留学前に自分の中で考えていた目的が 3 つあります。一つ目は先述したように、海外での生活への耐性をテストすることです。二つ目は、進路を決めるための材料を集めることです。私は臨床獣医師になりたいと考えていますが、対象となる動物は多岐にわたります。渡航前は犬や猫などの伴侶動物臨床に興味がありましたが、それは都会で生まれ育った自分に大動物や野生動物と関わる機会が足りていないだけかもしれないと感じていました。残りの学生生活を有意義に過ごすためにも 4 年生の段階で留学をすることには大きな意義を感じており、またこれが渡航先として様々な種類の動物がいるオーストラリアを選んだことにもつながります。三つ目は英語力の強化です。スピーキングとリスニングに特に苦手意識があり、できれば 1 年以上の長期の海外生活で大きく伸ばしたいと常々感じていました。留学を終え、これらの目的は概ね達成されたといえます。まず一つ目について、前期のシティ生活では電話の契約、家の契約、銀行口座の開設、生活環境の整備、自炊など全て自分で行ったので、海外で一人で生活していくことができるという自信ができました。二つ目については、機会を得られるよう自ら動くことを心がけました。具体的には野生動物保護施設でのボランティア、小動物臨床二次病院および野生動物病院での実習を行いました。また授業についても、東京では詳しく学びにくい大動物や野生動物関連のものを履修するようにしました。最終的には自分はやはり犬・猫が好きかもしれないと考え至りましたが、それでも経験を積み感じ考えたプロセスは非常に価値があったと思います。三つ目については、後期の寮生活で特に実感しました。日本人がほとんどいない環境だったので、当たり前のように英語を聞き話す中で、自然に出てくる表現も増えていきました。</p>
<p>■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting:</p>
海外で働きたいという思いが強まりました。
<p>■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting:</p>
自分は学年を落とさないことを選んだので、カリキュラムがぐちゃぐちゃになる、卒論研究の時間を取りにくいなどのデメリットがありますが、とりあえずは 6 年で卒業できるように努めようと思っています。
<p>■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad:</p>
現地でインターンシップに参加した
<p>■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned):</p>
専門職(法曹・医師・会計士等)、臨床獣医師として海外で働く。
<p>■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants:</p>
留「学」生と言えど、意識してアンテナを広げれば、勉強に留まらず多様な経験をすることができます。イン

ターン、ボランティア、訪れたい場所など to do リストを何となく日本で思い描いてから渡航すると、有意義に時間を過ごすことができると思います。細かいアドバイスで言うと、交換留学生は履修できる授業に制限がかかっていて受けられないことも少なくないので、そういうときは躊躇せず担当の学部にメールしましょう。

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

留学体験記